和歌山県公共工事入札監視委員会第72回定例会議 議事概要

開催日及び場所	令和元年8月26日(月) 10:00~11:20	
	和歌山県自治会館 304会議室	
出席委員氏名	遠藤桂介(委員長)	
	津村雅枝(副委員長)	
	沖 本 易 子	
	坂 田 初 美	
	永瀬節治	
	三岩敬孝	
審議対象期間	平成31年4月1日 ~ 令和元年6月30日	
抽出案件	総件数 2 件 議事	
一般競争入札	- 件 ○入札及び契約手続の実績状況等の報告	
条件付き		
一般競争入札	○意見交換会	
通常指名競争入札	一 件	
随意契約	一 件	
委員からの意見・質 問、それに対する回 答	意見・質問回答	
	別紙のとおり 別紙のとおり	
委員会による建議 の内容	なし	

別紙 No. 1

意見・質問	回 答
【入札及び契約手続の実績状況等報告】	
1. A委員 随意契約に競争入札に適さないものという のがあるが、その理由は何か。	1. 取水施設における浸水対策として設置位置を変更する工事で、機器類が一体となって作動する施設である。異なる製作者であると機器間の連動に不具合が生じて施設全体に重大な障害が発生するおそれがあるため。【事務局】
2. B委員 工事続行不能届の提出で入札参加資格停止 を行っているが、具体的な内容と経過はどのよ うなものか。また、予定していた工事はどうな ったのか。	2. 年度末までに多くの工事を受注したが、施工が間に合わなくなり契約解除に至ったため、入札参加資格停止を行った。予定していた工事については、別の事業者と契約を行い施工した。【事務局】
【条件付き一般競争入札】	(3V.)), W
○和歌山下津港港湾施設整備(推進費)工事	(発注機関:和歌山下津港湾事務所)
1. A委員 入札価格が一番低い事業者と総合評価の結 果落札者となった事業者で、入札価格に約10 0万円の差があるが、この差も加味した上で、 落札者が決定されているのか。	1. 技術評価点を入札価格で割って算出する評価値によって落札者を決定している。今回の落札者は技術評価点が高かったため、評価値で逆転した。
2. C委員 低入札価格調査の経営状況の調査は公表しないとしているが、調査はしているのか。	2. 低入札価格調査については、資料を提出してもらい内容を調査するが、会社の経営状況に関わるものなどは公表をしていない。
3. D委員 今回の工事は、元々脆弱性がわかっていて改修の予定であったものか、基準は満たしていたが、今回の台風が大きくて急遽行うことになったものか。	3. 元々、50年確率の波浪に対して、波の高さや護岸を越えてくる水の量で浸水しないように設計していた。昨年の台風は、高潮等の条件が重なり観測史上最大の波であった。今回、その昨年の台風の波でも浸水しないように工事を行うようにした。

別紙 No. 2

【条件付き一般競争入札】

○南紀白浜空港整備地盤改良工事

1. B委員

それぞれの入札の工期について、1回目は280日間、3回目は280日間でフレックス工期を適用、4回目は245日間となっているのは、なぜか。

2. C委員

3回目と4回目の入札条件が同じだが、3回目で2者応札しているのに不成立になったのはなぜか。また、4回目で1者応札となっているが。

3. A委員

入札が4回行われており、応札者も少ないが、この工事は魅力がなかったのか。

4. E委員

1回目と2回目の入札の条件で企業の施工 実績は変更していないが、技術者の施工実績を 変更したことによって、参加可能業者数が増え たとしているが、県は各会社にどういう技術経 験を持っている社員がいるかを把握している ということか。 (発注機関: 西牟婁振興局建設部)

- 1. 入札で不落が続いた結果、工事を行う期間 が短くなったため、4回目はフレックス工期 の適用もできなくなった。
- 2. 3回目は、2者ともに予定価格を超過していた。事業者が予定していた金額より低い金額でないと受注ができないという中で、対応できる事業者が1者いたと考えている。
- 3. 空港という特殊なところで、滑走路を工事するため、夜間しか工事できない。また、次の日には飛行機が来るので、それまでに補修をしなければならない。それを繰り返す工事になるので、人気がなかったと考えられる。
- 4. 企業については、コリンズという検索システムがあり、その工事の経験を持つ企業が何社あるかがわかるが、個人の技術者についてはわからない。代替的に企業数を確認して、参加可能業者数を予測している。

【意見交換会】

下記について意見交換を行った。

記

- 1. 公共工事動向について
- 2. 「県内開発建設技術登録制度」の創設について